平成28年度

竜王町社会福祉協議会

事業計画書

社会福祉法人 竜王町社会福祉協議会

事業実施計画

1. 法人組織・事務局機能の強化

□ 法人運営機能の充実・強化

事業	実施計画	事業内容
(1)理事会	年6回程度	業務執行上の事項及び当面する課題について審議し、その企画立案を行う。
(2)評議員会	年2～3回	社会福祉法人改革を受け、本会の対応を協議する。
(3)監事会	年1回	運営管理上の重要事項及び業務執行上の基本方針について審議決定を行う。
(4)会長・副会長 調整会議	随時	運営管理、事業の執行状況及び財産の状況等について監査を行う。
(5)部門間調整 会議	随時	業務執行上の近況報告及び当面する課題についての方向性を検討する。
(6)財務管理	年間	各部署の近況報告及び当該職間の意思疎通の下、当面する課題についての方向性を検討する。
		税理士との委託契約により、財務管理の透明性を確保する。

□ 部会・委員会機能の充実・強化

事業	実施計画	事業内容
(1)法人運営部会	随時	法人の経営方針、組織の充実及び事業財源の安定化・拡大等検討し理事会に提言する。
(2)地域福祉推進部会	随時	地域福祉事業の充実・強化のための方向性を示し、本会が推進する事業の評価または将来的な展望等を理事会に提言する。
(3)在宅福祉事業部会	随時	地域福祉懇談会等の開催に向けての調整。 地域福祉活動計画の進行管理等にかかる提言。
(4)広報部会	発行につき 2回程度	介護及び介護予防を目的とする事業の充実・強化のための方向性を示し、本会が実施する在宅福祉サービス事業の評価や将来的な展望等を理事会に提言する。
(5)各種委員会	随時	社協の事業活動の紹介・さまざまな情報の提供を通じて、住民に対して福祉意識の啓発活動の推進を図るとともに、説明責任を果たすための広報等の企画をする。
		個別事業の充実・強化のために、具体的な推進手段の検討や当該事業の評価、将来的な展望等を会長に提言する。
		◆ボランティアセンター運営委員会
		◆善意銀行運営委員会

□ 役職員研修会の実施

事業	実施計画	事業内容
(1) 役員研修	随時	滋賀県社会福祉協議会や同会長会等が主催する社協役員研修などに参加し、役職員の研鑽に努める。
(2) 職員内部研修会の実施	1回/2ヶ月	職員が輪番で講師を経験する内部研修会を実施することにより本会職員としての自覚の醸成を図る。また、適宜、外部より講師を招くなど、職員の資質向上を目指す。
(3) 局内会議の実施	月5回程度	定期的に局内会議（事業進捗会議、ヘルパー会議、地域シェア会議）を実施することにより、細やかに事業の遂行状況の把握や評価を行うとともに、職員の主体性を促し責任を持って事業に取り組む姿勢を助長する。
(4) 研修会への参加	随時	滋賀県社会福祉協議会等が開催する社協職員研修などに積極的に参加し、県内他市町職員との交流と研鑽に努める。

2. 安定した事業財源の確保

□ 会員会費の拡充

事業	実施計画	事業内容
(1) 一般（世帯）会員の加入促進	4月	自治会の協力のもと、世帯1,000円の一般会員の募集を行い、事業財源の確保と地域福祉活動の充実を目指す。 区（自治会）長宅へ役職員が訪問し、実施趣旨を説明のうえ、理解と協力をいただくことに努める。 地域での集会などの機会をとらえ、会員会費制度の啓発と協力のお願いをを行う。
(2) 賛助会員の加入促進	5月～ (9月強化月)	企業、商店、個人のご賛同頂ける方に対し、郵送での協力依頼のほか、役職員が計画的な連携のもとで全町的な協力依頼を行い、事業財源の確保に努める。また、新規参入企業様に対するの賛助会員加入推進を図る。

□ 事業財源の募集

事業	実施計画	事業内容
(1) 助成金の活用	随時	助成金申請を積極的に行い、新たな財源の確保に努める。
(2) 広報広告募集	随時	広報広告の募集など、新たな財源の確保に努める。
(3) 入れ歯リサイクル事業	年間	不要になった入れ歯を町内の歯科・病院などで回収していただきリサイクル業者に依頼し金属の部分を精製し収益を得る。収益の一部はユニセフに寄附される。

□善意銀行の管理・運営

事業	実施計画	事業内容
(1)善意銀行運営 委員会の開催	随時	寄付金の管理と必要時の地域福祉推進活動者への預託金払出しのための審議。
(2)災害時等の支援に要する費用の管理	年間	災害時に備えた費用の準備と必要時の活用

3. 地域福祉活動計画の進行管理

事業	実施計画	事業内容
活動計画の進行管理	年間	<p>平成26年度に策定した地域福祉活動計画（5ヵ年）の地域への周知に努めると共に、皆さんの理解と協力を頂き、活動の具現化に努める。</p> <p>実施にあたっては、社協の基盤強化を図りつつ、現状と社会情勢を踏まえたうえで取り組む。</p> <p>地域福祉推進部会において計画の進捗管理を行う。</p>

4. 地域づくり

□ 小地域福祉活動の推進

事業	実施計画	事業内容
(1)小地域支え合いの「近助」体制づくり	年間	小地域における災害時要配慮者支援体制づくりを支援し、その活動を通じて日ごろの見守り支え合い活動の促進を図る。
(2)福祉委員会の組織化および活動への支援	随時	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 活動メニューの提示・支援による活動の活性化 ◆ 未設置地区に対する組織化支援活動 ◆ 福祉の町づくり運動推進地区助成金を活用した福祉委員会活動の推進 ◆ 歳末助け合い配分金を活用した地域ふれあい活動の推進 ◆ 共同募金地域配分金等を活用した地域サロン等への助成 ◆ その他の民間助成金の案内など
(3)福祉委員への支援	1回/年	福祉委員が安心して活動頂けるよう福祉委員活動の取り組み内容や福祉の町づくり運動推進地区助成金の申請について説明研修を開催するほか、滋賀県社会福祉協議会や町などが主催する各種研修会の情報提供を行う。
(4)福祉関係三者研修	1回/年	各地区の小地域福祉活動の推進者である自治会長、福祉委員、民生委員児童委員の方々をはじめ、福祉委員会構成員が協力して取り組みを進められるよう、3者が揃って話し合える研修の場を設ける。
(5)地域福祉ブロック別懇談会の実施	10～11月	地域福祉活動の取り組みに参考となる情報提供と合わせ、各地区の福祉委員会、福祉関係委員同士の交流の場を設け、地域同士の情報交換や福祉課題の共有化を通じて、地域自身の課題解決力の向上を図る。
(6)地域子育てサロン等の運営支援	年間 随時 2回/年	<p>おもちゃの貸し出し・助成等を行う。</p> <p>サロン立上げ希望の自治会への立上げ支援</p> <p>ブロック別子育てサロン交流会の開催</p>
(7)見守り配食事業	5回/年	ボランティアさんの協力により、温もりのある季節ごとのお弁当を作って頂き、一人暮らし高齢者の方への配食を通じ、民生委員児童委員と連携して心身の変化などの実態把握を行い、記録を作成する。
(8)コミュニティカフェ「縁側」づくりへの支援	年間	<p>隣近所の人たちが誰でも交流できる、昔の「縁側」のような地域の居場所づくりを支援する。（コミュニティカフェ、ふれあい喫茶活動など）</p> <p>既に立ち上がった地区のコミュニティカフェ同士の交流会を実施し、活動の活性化や運営上の課題解決を支援する。</p>

□ 地域福祉コーディネーターの設置・充実

地域福祉コーディネーターは、地域での福祉課題に対し地域の関係者と専門職で連携を図りながら解決策を考えていくための重要なつなぎ役を担う。

事業	実施計画	事業内容
(1) 課題への早期対応・予防	年間	地域住民や福祉関係者が困りごとについて、適切な相談窓口機関へスムーズにつながるよう支援する。
(2) 相談支援体制の強化	年間	情報提供や単発的な支援だけでなく、福祉委員会会合やふれあいサロンなどへの参加など、継続的に関わり続けることで、社協全体で地域からの要望に応えられる体制づくりを目指す。
(3) アウトリーチの強化	年間	地域に出向き、地域住民との関係を築き、制度の狭間に陥ったり、支援につながりにくいケースをキャッチする。 また、福祉委員会の活動について停滞している地区への重点的支援を行い、どこの地区でも小地域福祉活動の充実を目指せるよう支援していく。

5. 地域を支える人づくり

□ ボランティアセンター機能の充実

事業	実施計画	事業内容
(1) センター機能の強化	年間	ボランティアセンターとして、日常的なボランティアニーズの発掘・相談・登録・斡旋に加え、連絡調整機能を果たす。 ボランティアの発掘・ボランティア活動の啓発を行う。 ボランティアの組織化（グループ化）への取り組み NPO法人との連携・支援、他機関との連携。
(2) ボランティア活動の啓発	年間 4回/年	事務所前に設置したボランティアコーナー（掲示板）において身近なボランティア情報の提供、ボランティア保険の加入促進等に努める。 社協広報「福祉りゆうおう」に「ボランティア通信」を掲載。
(3) 福祉教育の支援	随時	町内の小・中学校に対し、福祉体験の指導や講義などで総合学習における支援を行う。 ・キャラバンメイトとの連携による認知症啓発。 ・福祉体験学習（車椅子体験・高齢者疑似体験・点字体験など）地域性を配慮し時代を反映した魅力ある研修会・講座を企画する。
(4) 福祉講座・研修会の企画運営	年間	研修会・講座を通して、ボランティアの育成及び地域で活躍できるまでの協力を努める。 〔開催講座等〕 ・ボランティア入門講座 ・ボランティアのつどい

<p>(5)災害時ボランティアセンターの体制作り (6)物品の貸し出し</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ交流会 ・各種ボランティア講座 <p>竜王町防災計画を基に、災害時の支援マニュアルを作成し、災害時ボランティアセンターの体制作りを行う。</p> <p>研修用機材の整備、貸し出し レク用品・イベント用品の貸し出し</p>
---	--	---

6. 仲間づくり・生きがいづくり

各種サロン・講座の開催

事業	実施計画	事業内容
(1)いきいき趣味活動（高齢者趣味活動）	各講座 1回/月 程度	ふれあいプラザにおいて、カラオケ・健康料理・ちぎり絵・書道教室・編み物手芸教室など各種講座を実施。 講座で制作した作品を文化祭や図書館等にて展示を行う。
(2)こどもひろば（名称:プチどら）	3回/週	未就園児とその親御さんを対象に、親子の交流を通じて子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。 弓削ふれあいプラザで、月・火・金曜日の週3日開催。 ・サポーター養成講座の開催 地域での子育てサロン運営をサポートできる人材の養成。 ・子育て講演会の開催 子育て中の保護者を対象に、子育てに参考となる講演会を開催する。
(3)退職シニア世代へのアプローチ	4回	退職シニア世代にアプローチし、小地域福祉活動の推進に関わる活動への参加を企画し、異世代間の交流や、地域人材の発掘、退職シニア世代の介護予防の取り組みなどにつなげる。
(4)プチどら★にこにこプロジェクト	年間	赤ちゃん（～3歳）と母親等が高齢者施設を訪問し、高齢者との交流を通じて子育て中の親子の仲間づくりや社会参加活性化と、高齢者の生きがい感向上を図る。

当事者団体への支援

事業	実施計画	事業内容
(1)当事者団体支援	年間	<p>団体事務の補助・自立に向けての支援。 各種事業への参加・協力。団体運営の支援。 資金の助成</p> <p>【主な団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 視覚障害者友の会 * 母子福祉のぞみ会 <p style="text-align: right;">*手をつなぐ育成会</p>

(2)一人暮らし高齢者支援事業	2回/年	7月…交流会 12月…クリスマス会 ボランティアさん等に余興をお願いし、食事を摂りながら交流を深めていただく。(共同募金の配分金を活用。)
-----------------	------	--

7. 主体的な活動への支援

- 福祉活動団体への助成

事業	実施計画	事業内容
(1)福祉団体への支援	随時	自主的に福祉活動を行う福祉団体からの申請に基づき、運営費の一部を助成する。
	随時	町内の小・中学校を対象に福祉教育活動に対する助成を行う。

8. 相談・支援事業の充実

- 定期相談の継続・専門相談の充実

事業	実施計画	事業内容
(1)心配ごと相談所の開設	3回/月	町勤労福祉会館にて、月3回、定期的に開設する。 専門の相談員が土地や借金、債務、暮らしの様々な相談に応じ、必要に応じ弁護士等につなぐ。 相談員研修会により、相談所のレベル向上を図る。
(2)生活困窮者自立相談支援事業	4回/年	弁護士・司法書士等による無料相談会を実施する。 広報紙等により日程等を周知する。 地域内で課題となっているケースの把握に努め、対象者の実態把握を行う。
	随時	民生委員児童委員さんとの連携により対象となるケースを把握する。
②相談受付	随時	社協の他事業・他部門と連携し、各制度での対応が困難な相談ケースについて、本事業での対応を図る。 町福祉課と連携し、生活困窮に関する相談に対し協働して対応し、本事業のスムーズな運営を図る。
③自立相談支援の実施	随時	地域の福祉関係者からの情報に基づき出張相談を行う。 相談者が抱える課題を把握し、その置かれている状況や本人の意思を確認することを通じ個々人の状態に合った支援計画の作成等を行う。
④就労支援への橋渡し	随時	ハローワークや就労準備支援事業実施事業所との連携 県健康福祉事務所との連携により中間的就労支援事業所の開拓を図る。
⑤事業の啓発	随時	福祉関係者の集まる場で事業啓発を行う。 (民児協定例会、福祉委員研修、地域福祉懇談会等)

□ 福祉サービスの実施および利用支援

事業	実施計画	事業内容
(1)生活福祉資金貸付制度の利用支援	年間	<p>低所得世帯等の自立更生を助長するため、制度の利用窓口としての役割を果たす。（生活福祉資金など）</p> <p>①総合支援資金 失業者等、日常生活全般が困難な方に、継続的な相談援助と生活費等の一時的資金の貸付利用支援などの自立支援の実施</p> <p>②福祉資金 低所得者等に対し、一時的に必要な経費を貸し付ける。 ・福祉費…住宅増改築・福祉用具の購入などの経費としての資金の貸付 ・緊急小口資金…緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった低所得世帯を対象に資金の貸付</p> <p>③教育支援資金 低所得者等に対して、入学・就学するために必要な経費等を貸し付ける。 総合支援資金および緊急小口資金の貸付については、相談者の生活が、より自立に向けた促進が図れるものとなるよう生活困窮者自立相談支援事業と連携する。 原則として生活困窮者自立支援事業の利用が要件となる。 アセスメントシートの活用 償還が滞っている借受世帯への相談機能の充実</p>
(2)日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）による支援	年間	<p>判断面で日常生活に不安のある高齢者や障がいのある方等を対象に、他職種との連携を図りながら日常生活での困りごとなど生活全般に対する相談に応じるとともに、生活費のお届けや福祉サービス・行政手続きを本人と同行あるいは代行することにより、利用者さんの自立を支える支援を行う。 今後ますます、総合的な支援が求められていくと考えられ、利用者数の増加で個々への対応回数が著しく増加していることや、その支援内容が複雑かつ困難化してきていることもあり、引き続き生活支援員の補充・育成に努める。 また、相談から契約へのスムーズな対応を図り、契約待機者が生まれないようにする。</p>
(3)成年後見制度への移行支援	必要時	<p>日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）では、対応が困難になってきたケースは、適切な時期に成年後見制度へと移行できるよう支援する。</p>

9. 調査・広報活動の充実

□ 調査活動

事業	実施計画	事業内容
(1) 要援護世帯の把握と対応	年間	訪問介護事業、民生委員児童委員、福祉委員等の方々からの情報収集。 自立相談支援事業からのニーズの発見。 地域福祉コーディネーターによる情報収集。
(2) 一人暮らし高齢者・高齢者のみ世帯等の把握		見守り配食事業のチェックシートの作成。 歳末たすけあい事業おせち料理宅配助成を通じた把握。
(3) 地域のニーズの把握		「ニーズ発見ノート」の活用…職員が常に携帯し、常にアンテナを立てて、情報の収集に努める。

□ 広報活動

事業	実施計画	事業内容
(1) 「福祉りゅうおう」の発行	4回/年	本会の収支状況をはじめ、地域福祉推進活動の発信を行う。 また、事業の協力依頼や各種講座の受講者募集のほか、団体・グループ・当事者の幅広い福祉活動の紹介等を行う。 「ボランティア通信」「いつまでも元気クラブ」情報も掲載する。
(2) こどもひろば便りの発行	随時	こどもひろば便り「どらんちゅ」を活用し、事業の近況報告やお知らせなどを掲載する。 参加者の募集や月間の予定をお知らせし、事業への参加者を拡大する。
(3) プラザだよりの発行	随時	町内3つのふれあいプラザで実施している「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の介護予防事業や「いきいき趣味活動」による仲間づくりなどの情報を「プラザだよりの発行」として毎月発行し、高齢者の健康維持に役立てて頂くため、多数の参加者を募る。
(4) ホームページの管理	年間	ホームページを活用して、地域福祉活動の啓発を図る一方、町民が円滑に社協の福祉サービスや地域福祉関連の助成制度を利用できるように情報提供や様式のダウンロード環境を整える。
(5) フェイスブックの管理	年間	こども広場のタイムリーな情報や子育て情報の発信。

10. その他

□ 関係機関との連携・支援

事業	実施計画	事業内容
(1)関係機関との連携	年間	行政関係機関、福祉関係施設・団体との連携 諸事業への参加協力・活動費等支援
(2)事務局支援	年間	事務局の運営、または運営補助 事業の実施・協力・助成金支援 【事務局を預かっている団体】 * 竜王町共同募金委員会 * 日本赤十字社竜王町分区 * 遺族会 * 護国社奉賛会 * 民生委員児童委員協議会

□ その他の事業、啓発活動等の実施

事業	実施計画	事業内容
(1)共同募金運動の推進	年間	募金活動の推進（再掲） 配分活動の実施 要援護世帯支援、小地域ふれあい事業、福祉団体・施設への事業助成。
(2)社会を明るくする運動	7月	社会を明るくする運動・青少年健全育成活動への協力。 のぼり旗、ポスターの掲示等啓発活動の実施。
(3)平和祈念事業	7月	戦没者の慰霊と恒久平和の実現のため、町主催の平和祈念式に協力する。
(4)社会福祉大会の開催	11月	40周年記念大会として実行委員会による企画運営を行う。 社会福祉の向上に寄与された方々の表彰等を行う。 ボランティアグループの活動発表。 地域福祉の推進を図るための講演会の実施。

11. 在宅福祉サービスの充実

□ 介護サービス事業所の運営

事業	実施計画	事業内容
(1)訪問介護事業	年間	要介護状態の利用者の方が、安心して在宅での生活が継続できるように、身体介護・生活介護・通院介助サービスの提供を行う。特に、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加・障害者の地域移行が進む中、社協の地域福祉権利擁護事業等との連携を図りながら、安心して在宅生活を送って頂けるよう努める。
(2)介護予防・生活支援サービス事業	年間	専門的なサービスを必要とする要支援状態の利用者の方が自立した生活を送れるよう、身体介護・生活介護サービスの提供を行う。
(3)介護保険外サービス事業	年間	介護保険制度の対象サービス（訪問介護事業）で対応出来ない方の介護サービスの提供を行なう
(4)外出支援サービスの実施	随時	介護保険利用者以外の方で、外出の手段のない一人暮らし高齢者・障がいのある方を対象に比較的割安な料金で外出支援を行う。
(5)利用者負担減免の実施	随時	介護保険等サービス利用者で低所得世帯の方に対して利用料金の一部負担を行うことにより利用を支援する。

□ 障害福祉サービスの実施

事業	実施計画	事業内容
(1)居宅介護事業	年間	障害者総合支援法による、身体介護・家事援助などの訪問介護サービスの提供
(2)重度訪問介護事業	年間	常時、介護が必要な障害児・者に対して、継続的なサービスを提供する。
(3)同行援護	年間	視覚障害者の方の外出支援、移動支援を行う。
(4)地域支援事業	年間	町の地域支援事業による、移動サービスの提供
(5)社会参加促進事業	年間	町の社会参加促進事業による、タクシー運賃助成の適用

□ 車椅子・ベッドの貸し出し

事業	実施計画	事業内容
(1)福祉用具貸与事業	年間	在宅生活において、車椅子・ベッドが必要な方に対して無料で貸し出しする。 福祉用具の在庫管理・メンテナンス等

12. 介護予防への取り組み

□ 介護予防拠点施設の管理・運営

事業	実施計画	事業内容
(1)プラザの管理	年間	町より鏡・弓削・鶴川の3ふれあいプラザを指定管理者制度により社協が管理を受託している。 常時、社協職員が管理を行うほか、カーペットの清掃、消防点検等は、専門業者へ委託する。
(2)プラザの運営	年間	介護予防・地域交流・ボランティアさんの活動場所として運営していく。
①生涯現役事業		「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の実施。 町から介護予防事業として委託を受けている生涯現役事業については、鶴川、弓削、鏡ふれあいプラザを会場に、概ね60歳以上の方を対象に多様な教室を開催する。
②いきいき趣味活動		「いきいき趣味活動」の実施。 高齢者自らが寄り集い、講座を通じて交流を深めあい、地域に持ち帰って地域の仲間づくりへと発展していける講座の開催に努める。
(3)貸し館事業	年間	地域の方々にもご利用いただけるよう、地域が行う介護予防を目的とした事業等に対して、プラザの貸し館（要予約・有料）を行う。

滋賀県共同募金委員会竜王町共同募金委員会事業計画

事業	実施計画	事業内容
(1)理事会・評議員会	年2回程度	共同募金委員会事業計画（報告）および予算（決算）等重要事項について審議、決定を行う。
(2)監事会	年1回	事業の執行状況及び会計状況について監査を行う。
(3)戸別募金の実施	10～12月	共同募金の配分金は、地域福祉活動等事業の有効な財源となるため、自治会の協力のもと戸別募金の運動を展開する。 実施にあたっては、自治会長さんに事前資料の配布と十分な説明を行い、ご理解を頂いた中で実施できるよう努める。
(4)法人募金の実施	10～12月	企業・商店等に対し、文書による協力依頼のほか、民生委員児童委員さんにご協力を頂き、全町的な協力依頼を行う。 実施にあたっては、民生委員児童委員さんに十分な説明を行い、理解協力をお願いする。
(5)その他募金の実施	10～12月	職域募金・街頭募金・学校募金・窓口募金のほか、歳末たすけあい募金の取りまとめを行う。 街頭募金については、NPOや福祉施設等の職員さんの協力を得て、フレンドマート竜王店や町内の道の駅およびダイハツ竜王工場での街頭募金を実施し、地域のみんなで盛り上げていく活動であることを知ってもらう。また、三井アウトレットパークでの街頭募金実施に向け協力をお願いをする。 社協職員が町内の福祉イベント等に出向き出店などによる収益で募金に協力する。
(6)共同募金の啓発		共同募金についての啓発を目的とした事業を行い、共同募金についての理解を促進する。 園児・児童・中学生に向けた啓発や自治会を通じて共同募金運動の趣旨説明・協力をお願いを行う。
(7)共同募金目標額		平成28年度目標額 一般募金 1,800,000 円 歳末募金 1,650,000 円
(8)審査委員会	1～3回／年	共同募金事業の円滑な推進を図るために、審査委員会を開催する。
(9)事業助成	年間	次の助成を行う。 ① 小地域ふれあい事業等への助成 ② 要配慮者支援体制事業（近助事業）取組み地区への助成 ③ 地域での福祉活動に対する表彰 ④ 小地域福祉推進のための事業費
	歳末	①小地域ふれあい事業助成 ②福祉関係団体・施設等事業助成 ③個別見舞 ④おせち料理宅配助成